

府中市の応援団、増加中！

～連携協定を締結する仲間が増えています～



市の未来は、いろいろな人の協力があってこそ出来るものです。府中市では、さまざまなジャンルで連携協定を締結しています。連携協定とは、市と民間企業などがお互いの強みを生かして、課題解決に向け連携していく取り組みです。今年に入って締結した連携協定の一例を紹介します。

府中商工会議所とともに 近畿大学と包括連携協定を締結

近年の人口構成変化や、変動する経済情勢などに対応できるよう、昨年度策定した府中市産業振興ビジョンを基本に、ものづくりのまち府中の復活に向けた産業振興、地元企業の生産性向上を目指しています。

昨年6月に開設した産業関係室が、市内企業と近畿大学をつなぐ架け橋となり、府中商工会議所では、地元企業による大学生が受講する寄附講座の開催や、学生インターンシップの受け入れなどを行っています。

大塚製薬株式会社と健康増進に関する 包括連携協定を締結

市民の皆さんが健康でいきいきとした生活を送れるよう、健康づくりや食育、フレイル予防などの分野に力を入れていこうと考えています。

市内の中学校・学校運営協議会で校内軽食ブースを設置していることをご存じですか。朝食を食べずに登校してきた児童生徒が、午前中にカロリーメイトなどを口にする事で、何も食べないときよりも集中力が増すという感覚を実感し、朝食の大切さに気付き生活を改めてほしいという想いを込めた取り組みです。

また、市内5校に、緊急時解放備蓄型の自動販売機を設置しました。熱中症対策としてだけでなく、災害対応型で停電時には手動で商品を取り出せる備蓄機能を持っています。

連携協定は、市外の企業とコラボして府中市の魅力を外に発信し、また市内の企業と連携してより市民の暮らしに根付いた活動を行うものです。ここに挙げている以外の内容や相手と

市内郵便局11局と地方創生に関する 包括連携協定を締結

これまでも、郵便局とは災害時の覚書や高齢者の見守りなど、さまざまな連携をしてきました。府中市地域交流センター・キテラス前に、街並みに合わせた落ち着いた色合いで着色した特殊ポストを設置しましたが、これも包括連携協定の内容の一つです。

また、この協定に基づき、郵便局でもマイナンバーカードの申請ができるよう、交付申請用のタブレット端末6台を市内各郵便局に配置し、局員の皆さんには、申請時の端末操作のお手伝いをお願いしています。通信環境がない、操作が分からない、市役所まで行くのが遠い人などは、ぜひ近くの郵便局に相談してください。

(一社) DPCA、(一社) 地域再生・防災ドローン利活用推進協会と 災害時における支援協力に関する 協定を締結

ドローンには、撮影・点検・運搬など、地上からでは困難な多くの機能があり、特に災害時に、人が近づけない危険箇所の確認などに有効活用できます。

災害時におけるドローンの操縦や、撮影ができる専門スタッフの派遣といった支援協力体制を、全国的な組織と協定を結び整備することによって、災害対処能力の向上を図りました。

今後、訓練の実施などを通して、いざというときに迅速に対応できる体制を整えていきます。

も、さまざまな場面で連携をしていくよう話を進めています。

府中市では、お互いの利益となるような連携をしていただける企業・団体を求めています。

問い合わせ先 政策企画課 (☎43-7239)